

事 務 連 絡
令和5年11月28日

公益社団法人東京都医師会
理 事（疾病対策担当） 殿

東京都保健医療局感染症対策部長

中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について（周知）

平素より、都の保健医療行政に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

標記について、令和5年11月24日付けで厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課事務連絡が発出されました。現在、中華人民共和国（以下「中国」という。）において小児の呼吸器感染症が増加していることが報告されています。原因としては、季節性インフルエンザウイルス、肺炎マイコプラズマ、RSウイルス、アデノウイルス等が報告されており、未知又は新たな病原体は確認されていない状況とされております。

つきましては、当該通知を踏まえた下記の対応に関し、貴職から貴会所属の医療機関へ御周知いただけますようお願いいたします。

なお、都内各病院に対しましては、都から別途通知しておりますことを申し添えます。

また、本件については厚生労働省において調査が継続されており、状況に変化があった場合には改めて通知いたします。

記

- 1 医療機関において、特に最近一か月以内に中国渡航歴のある方で発熱や呼吸器症状を有する方の診察において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のほか、直近では日本国内流行していないマイコプラズマ肺炎やRSウイルス感染症等も念頭に置いて御診察ください。その際、中国における肺炎マイコプラズマはマクロライド系抗菌薬に耐性である割合が高いとする報告があることにご留意ください。
- 2 最近一か月以内に中国渡航歴があり、貴院において上記1に記載する疾患に関する検査を実施の上、なお原因が明らかではない肺炎症例を認めた場合は、管轄保健所に御相談ください。

事務連絡
令和5年11月28日

都内各病院管理者 殿

東京都保健医療局感染症対策部長

中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について（周知）

平素より、都の保健医療行政に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

標記について、令和5年11月24日付けで厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課事務連絡が発出されました。現在、中華人民共和国（以下「中国」という。）において小児の呼吸器感染症が増加していることが報告されています。原因としては、季節性インフルエンザウイルス、肺炎マイコプラズマ、RSウイルス、アデノウイルス等が報告されており、未知又は新たな病原体は確認されていない状況とされております。

つきましては、当該通知を踏まえた下記の対応に関し、貴院関係者に御周知の上、適切に御対応いただきますようお願いいたします。

なお、本件については厚生労働省において調査が継続されており、状況に変化があった場合には改めて通知いたします。

記

- 1 貴院において、特に最近一か月以内に中国渡航歴のある方で発熱や呼吸器症状を有する方の診察において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のほか、直近では日本国内流行していないマイコプラズマ肺炎やRSウイルス感染症等も念頭に置いて御診察ください。その際、中国における肺炎マイコプラズマはマクロライド系抗菌薬に耐性である割合が高いとする報告があることにご留意ください。
- 2 最近一か月以内に中国渡航歴があり、貴院において上記1に記載する疾患に関する検査を実施の上、なお原因が明らかではない肺炎症例を認めた場合は、管轄保健所に御相談ください。

令和5年11月24日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課

中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について（周知）

平素より、感染症対策行政に御尽力、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

今般、中華人民共和国（以下「中国」という。）において小児の呼吸器感染症が増加していることが報告されています。原因としては、季節性インフルエンザウイルス、肺炎マイコプラズマ、RSウイルス、アデノウイルス等が報告されており、未知又は新たな病原体は確認されていません。

医療機関においては、特に最近一か月以内に中国渡航歴のある方で発熱や呼吸器症状を有する方の診察において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のほか、直近では日本国内で流行していないマイコプラズマ肺炎やRSウイルス感染症等も念頭に置いて診察にあたることが重要です。また、中国における肺炎マイコプラズマはマクロライド系抗菌薬に耐性である割合が高いとする報告があります。これらについて、管内の医療機関に対し周知いただくようお願いいたします。

本件については、現時点で情報が限られていることから、情報収集を継続中です。保健所においては、引き続き海外における呼吸器感染症の発生状況について御留意いただくとともに、最近一か月以内に中国渡航歴のある原因が明らかではない肺炎症例を認めた場合などにおいては、必要に応じた調査の実施等、適切に御対応いただきますようお願いいたします。

なお、同様の事務連絡を公益社団法人日本医師会宛に発出している旨申し添えます。

（参考1）WHO Disease Outbreak News: Upsurge of respiratory illnesses among children-Northern China.
23 November 2023. <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2023-DON494>

（参考2）Kim K, Jung S, Kim M, Park S, Yang H, Lee E. Global Trends in the Proportion of Macrolide-Resistant Mycoplasma pneumoniae Infections: A Systematic Review and Meta-analysis. JAMA Netw Open. 2022;5(7):e2220949. doi:10.1001/jamanetworkopen.2022.20949

（参考3）北京市衛生健康委員会

https://www.beijing.gov.cn/fuwu/bmfw/sy/jrts/202311/t20231114_3300887.html